



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 大日精化工業株式会社
 コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者 (氏名) 有江 朋之 TEL 03-3662-7128
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	138,491	10.7	4,920	1.4	5,613	0.6	6,343	59.5
2020年3月期	155,108	9.0	4,850	44.4	5,582	39.7	3,977	2.6

(注) 包括利益 2021年3月期 9,165百万円 (623.4%) 2020年3月期 1,267百万円 (92.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	341.95		6.5	2.9	3.6
2020年3月期	214.24		4.2	3.0	3.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 171百万円 2020年3月期 222百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	197,717	103,660	51.5	5,516.08
2020年3月期	187,296	95,675	50.1	5,052.36

(参考) 自己資本 2021年3月期 101,899百万円 2020年3月期 93,799百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	11,522	3,769	358	34,438
2020年3月期	12,829	3,552	3,026	27,636

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		42.50		35.00	77.50	1,438	36.2	1.5
2021年3月期		15.00		30.00	45.00	832	13.2	0.9
2022年3月期(予想)		35.00		35.00	70.00		29.4	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	59,000		2,700	199.7	3,200	144.6	2,300	6.4	124.51
通期	120,000		5,400	9.8	6,000	6.9	4,400	30.6	238.18

(注) 2022年3月期期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。このため、「売上高」における対前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間との増減率は記載しておりません。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	18,613,110 株	2020年3月期	18,613,110 株
期末自己株式数	2021年3月期	139,956 株	2020年3月期	47,702 株
期中平均株式数	2021年3月期	18,549,893 株	2020年3月期	18,565,605 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	104,592	11.1	1,238	21.8	2,989	28.5	2,789	57.0
2020年3月期	117,685	6.6	1,583	49.4	2,326	42.0	1,777	11.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	150.38	
2020年3月期	95.73	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	141,381	61,111	43.2	3,308.15
2020年3月期	132,551	57,550	43.4	3,099.88

(参考) 自己資本 2021年3月期 61,111百万円 2020年3月期 57,550百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の世界経済は、依然として新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けるなか、期後半にかけては、米国経済は経済対策の効果もあり、中国経済は輸出が堅調に推移するなど、総じて景気は回復基調となりました。一方、欧州経済は感染拡大の影響により行動制限が強化されるなど低調に推移しました。日本経済は、輸出の増加を受けて製造業が回復基調となる一方、緊急事態宣言の再発令により旅行・飲食業を中心に低迷し、企業の景況感は一極化が鮮明となりました。

このような経済環境のもとで、当連結会計年度における売上高は、期前半は生産活動の低下により印刷総合システム事業を除く全てのセグメントで低迷し、期後半以降、主に化学品事業及び高分子事業の車両業界向け及び情報・電子業界向け製品を中心に回復しましたが、1,384億9千1百万円(前年同期比10.7%減)と減収になりました。

一方、営業利益は、固定費の支出を抑制した結果、49億2千万円(同1.4%増)、経常利益は56億1千3百万円(同0.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益に投資有価証券売却益を計上したことなどにより63億4千3百万円(同59.5%増)の増益となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

(化成品事業)

当事業は、塗料、印刷インキ、情報表示・記録用の無機・有機顔料及び加工顔料、繊維用着色剤の製造・販売を行っております。情報表示・記録用顔料はテレワーク拡大によるディスプレイ関連が堅調な一方、オフィス事務機関連が低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は200億2千万円(同17.1%減)、営業利益は16億1千6百万円(同25.1%減)となりました。

(化学品事業)

当事業は、マスターバッチ、樹脂コンパウンドなどのプラスチック用着色剤、紫外線・電子線硬化型コーティング剤の製造・販売を行っております。車両業界向けの着色剤は、国内外ともに第3四半期から回復が顕著となりました。コーティング剤は情報・電子業界向けのディスプレイ関連が好調に推移しました。海外連結子会社においては、期後半以降、中国・東南アジアの樹脂コンパウンドが、家電・OA機器業界及び車両業界向けを中心に回復しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は754億5千万円(同10.7%減)、営業利益は40億4千万円(同2.6%増)となりました。

(高分子事業)

当事業は、ウレタン樹脂、天然物由来高分子の製造・販売を行っております。車両業界向けは、国内外ともに第3四半期から回復が顕著となり以降好調に推移しました。海外連結子会社においてはアメリカの事業拠点の業績が低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は161億3千8百万円(同11.1%減)、営業利益は26億7千6百万円(同1.4%減)となりました。

(印刷総合システム事業)

当事業は、印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。グラビアインキは、国内は一般包材向けパッケージ関連が堅調に推移しました。また、インドネシアの拠点の業績が好調に推移致しました。一方、オフセットインキは需要減少傾向が続きました。

これらの結果、当セグメントの売上高は266億8千6百万円(同5.0%減)、営業利益は22億円(同8.0%増)となりました。

(その他事業)

当事業は、グループ各社等への不動産賃貸等を行っております。当セグメントの売上高は1億9千5百万円(同17.1%減)となり、営業損失は2億1千5百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は1,977億1千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ104億2千万円増加いたしました。これは、「現金及び預金」や「建物及び構築物」が増加したことなどによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は940億5千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ24億3千4百万円増加いたしました。これは、「長期借入金」が増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,036億6千万円となり、前連結会計年度末と比べ79億8千5百万円増加いたしました。これは、「親会社株主に帰属する当期純利益」の計上により「利益剰余金」が増加したことなどによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ68億1百万円増加し、当連結会計年度末には344億3千8百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりとなっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は115億2千2百万円（前年同期比10.2%減）となりました。これは主に「税金等調整前当期純利益」及び「減価償却費」を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は37億6千9百万円（同6.1%増）となりました。これは主に「有形固定資産の取得による支出」として支出したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億5千8百万円（同88.2%減）となりました。これは主に「借入れによる収入」を計上した一方、「配当金の支払額」として支出したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、化学業界において川中に位置し、車両・情報電子・建築資材・産業資材・パッケージ等の多様な業界に製品供給しております。販売先業界ごとに新型コロナウイルス感染症の拡大の影響および原材料調達コストの動向を注視する必要がありますが、2020年度下期以降の回復が緩やかに続くものと予想しております。こうした事業環境を勘案し、次期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおりを予想しております。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期(累計)	59,000	2,700	3,200	2,300
通期	120,000	5,400	6,000	4,400

なお、2022年3月期期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。このため、「売上高」における対前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間との増減率は記載しておりません。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上の観点から、将来の事業展開、経営基盤の強化並びに内部留保の充実等の事項を総合的に勘案しつつ、株主各位への利益還元を重視した配当政策を継続的に実施することを基本方針としております。

当期に関しましては、新型コロナ禍による業績悪化を軽減することはできたものの、固定費をはじめとする経費削減によるものも大きく、今後の更なる業績回復に向け、当面の内部留保を厚く持たせて頂きたいと存じます。

従いまして、当期の期末配当につきましては、1株当たり30.0円とし、中間配当金を加えた年間配当金は1株当たり45.0円とさせて頂く予定です。

また、次期の配当は、中間配当・期末配当は1株当たりそれぞれ35.0円とし、年間配当金は70.0円とさせて頂く予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,915	36,650
受取手形及び売掛金	47,331	47,778
商品及び製品	18,797	16,287
仕掛品	567	599
原材料及び貯蔵品	9,129	9,038
その他	2,093	1,577
貸倒引当金	△87	△70
流動資産合計	107,748	111,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,254	47,459
減価償却累計額	△26,518	△27,407
建物及び構築物(純額)	15,736	20,051
機械装置及び運搬具	53,492	53,383
減価償却累計額	△42,569	△42,846
機械装置及び運搬具(純額)	10,923	10,537
工具、器具及び備品	11,180	11,371
減価償却累計額	△9,048	△9,385
工具、器具及び備品(純額)	2,131	1,985
土地	14,086	13,972
リース資産	1,046	1,178
減価償却累計額	△535	△628
リース資産(純額)	510	549
建設仮勘定	4,017	4,276
有形固定資産合計	47,406	51,373
無形固定資産		
その他	2,955	2,346
無形固定資産合計	2,955	2,346
投資その他の資産		
投資有価証券	19,349	20,635
出資金	548	536
繰延税金資産	1,243	355
退職給付に係る資産	6,102	8,363
その他	1,962	2,260
貸倒引当金	△18	△15
投資その他の資産合計	29,186	32,135
固定資産合計	79,548	85,855
資産合計	187,296	197,717

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,641	26,566
短期借入金	15,107	12,610
1年内返済予定の長期借入金	8,978	8,449
リース債務	212	258
未払法人税等	506	1,329
賞与引当金	2,227	1,786
関係会社整理損失引当金	81	14
環境対策引当金	10	25
その他	7,411	8,179
流動負債合計	60,177	59,220
固定負債		
長期借入金	16,740	20,783
リース債務	690	597
繰延税金負債	167	1,231
関係会社整理損失引当金	1,190	17
環境対策引当金	3,195	3,102
退職給付に係る負債	8,840	8,526
その他	619	576
固定負債合計	31,444	34,836
負債合計	91,621	94,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,772	9,772
利益剰余金	70,978	76,392
自己株式	△110	△330
株主資本合計	90,680	95,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,552	8,046
為替換算調整勘定	△1,592	△1,875
退職給付に係る調整累計額	△1,841	△147
その他の包括利益累計額合計	3,118	6,023
非支配株主持分	1,876	1,761
純資産合計	95,675	103,660
負債純資産合計	187,296	197,717

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	155,108	138,491
売上原価	131,329	116,269
売上総利益	23,779	22,222
販売費及び一般管理費		
運搬費	3,347	3,094
貸倒引当金繰入額	5	4
給料及び手当	5,398	5,275
賞与引当金繰入額	862	666
退職給付費用	438	535
その他	8,876	7,724
販売費及び一般管理費合計	18,929	17,301
営業利益	4,850	4,920
営業外収益		
受取利息	194	134
受取配当金	415	382
固定資産賃貸料	101	96
持分法による投資利益	222	171
保険配当金	128	139
補助金収入	—	359
その他	302	384
営業外収益合計	1,364	1,667
営業外費用		
支払利息	400	405
為替差損	11	28
支払手数料	—	162
クレーム弁償損	10	161
その他	211	216
営業外費用合計	633	974
経常利益	5,582	5,613
特別利益		
投資有価証券売却益	412	1,938
関係会社整理損失引当金戻入額	—	466
受取補償金	—	818
その他	283	453
特別利益合計	696	3,676
特別損失		
固定資産除却損	232	107
減損損失	1	509
関係会社整理損失引当金繰入額	651	—
関係会社整理損	91	242
環境対策引当金繰入額	150	9
その他	358	125
特別損失合計	1,484	995
税金等調整前当期純利益	4,794	8,293
法人税、住民税及び事業税	558	1,369
法人税等調整額	257	609
法人税等合計	816	1,978
当期純利益	3,977	6,315
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	0	△27
親会社株主に帰属する当期純利益	3,977	6,343

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	3,977	6,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,807	1,477
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	△106	△377
退職給付に係る調整額	△739	1,694
持分法適用会社に対する持分相当額	△59	55
その他の包括利益合計	△2,710	2,849
包括利益	1,267	9,165
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,274	9,248
非支配株主に係る包括利益	△7	△83

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,039	9,772	68,578	△108	88,282
当期変動額					
剰余金の配当			△1,578		△1,578
親会社株主に帰属する当期純利益			3,977		3,977
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,399	△1	2,398
当期末残高	10,039	9,772	70,978	△110	90,680

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	8,355	△1	△1,430	△1,101	5,821	1,951	96,055
当期変動額							
剰余金の配当							△1,578
親会社株主に帰属する当期純利益							3,977
自己株式の取得							△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,802	1	△162	△739	△2,702	△75	△2,778
当期変動額合計	△1,802	1	△162	△739	△2,702	△75	△380
当期末残高	6,552	—	△1,592	△1,841	3,118	1,876	95,675

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,039	9,772	70,978	△110	90,680
当期変動額					
剰余金の配当			△928		△928
親会社株主に帰属する当期純利益			6,343		6,343
自己株式の取得				△220	△220
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	5,414	△220	5,194
当期末残高	10,039	9,772	76,392	△330	95,875

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	6,552	△1,592	△1,841	3,118	1,876	95,675
当期変動額						
剰余金の配当						△928
親会社株主に帰属する当期純利益						6,343
自己株式の取得						△220
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,493	△282	1,694	2,905	△114	2,790
当期変動額合計	1,493	△282	1,694	2,905	△114	7,985
当期末残高	8,046	△1,875	△147	6,023	1,761	103,660

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,794	8,293
減価償却費	4,374	4,826
減損損失	1	509
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55	△440
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25	△19
環境対策引当金の増減額(△は減少)	67	△78
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	565	△1,205
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△273	△104
受取利息及び受取配当金	△610	△516
支払利息	400	405
為替差損益(△は益)	△6	57
持分法による投資損益(△は益)	△222	△171
持分法適用会社からの配当金の受取額	69	68
投資有価証券売却損益(△は益)	△407	△1,932
有形固定資産売却損益(△は益)	△100	0
有形固定資産除却損	232	107
売上債権の増減額(△は増加)	5,946	△723
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,955	2,335
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,029	1,171
その他	650	△560
小計	13,325	12,023
利息及び配当金の受取額	610	516
利息の支払額	△412	△384
法人税等の支払額	△694	△633
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,829	11,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,279	△2,212
定期預金の払戻による収入	2,095	2,279
有形固定資産の取得による支出	△5,243	△7,163
有形固定資産の売却による収入	1,897	88
無形固定資産の取得による支出	△609	△97
投資有価証券の取得による支出	△64	△35
投資有価証券の売却による収入	768	2,903
貸付けによる支出	△14	△13
貸付金の回収による収入	14	13
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	7	—
その他	△126	467
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,552	△3,769

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,449	4,049
短期借入金の返済による支出	△9,507	△6,468
長期借入れによる収入	9,300	12,717
長期借入金の返済による支出	△10,460	△9,193
リース債務の返済による支出	△189	△282
自己株式の取得による支出	△1	△220
配当金の支払額	△1,578	△928
非支配株主への配当金の支払額	△39	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,026	△358
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	△593
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,216	6,801
現金及び現金同等物の期首残高	21,419	27,636
現金及び現金同等物の期末残高	27,636	34,438

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ハイテクと色彩科学の総合メーカーとして、国内外で色彩に関わる各種製品の製造及び販売、またその他付帯する事業を展開しております。

このため、当社グループでは製品を基礎とした製品別の「化成品事業」「化学品事業」「高分子事業」「印刷総合システム事業」「その他事業」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要製品・サービス

報告セグメント	主要製品・サービス
化成品事業	無機・有機顔料、繊維用着色剤、情報表示・記録材料
化学品事業	プラスチック用着色剤、コーティング剤
高分子事業	ウレタン樹脂、天然物由来高分子
印刷総合システム事業	印刷インキ、事業に付帯する商品とサービス
その他事業	グループ会社等への不動産賃貸等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2,3)	連結財務 諸表計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	24,154	84,460	18,151	28,105	236	155,108	—	155,108
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	374	46	396	—	16,745	17,563	(17,563)	—
計	24,528	84,507	18,548	28,105	16,982	172,672	(17,563)	155,108
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	2,159	3,938	2,713	2,036	△226	10,622	(5,771)	4,850
セグメント資産 (有形固定資産)	8,326	16,282	8,642	7,365	688	41,306	6,100	47,406
その他の項目 有形固定資産の 増加額	822	3,290	886	2,342	23	7,365	30	7,396

- (注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については、各報告セグメントへの配賦を行っておりません。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用5,771百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。
3. セグメント資産(有形固定資産)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社資産6,100百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の資産及び一部の福利厚生施設等であります。

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2,3)	連結財務 諸表計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	20,020	75,450	16,138	26,686	195	138,491	—	138,491
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	333	38	361	—	15,244	15,977	(15,977)	—
計	20,354	75,488	16,500	26,686	15,439	154,468	(15,977)	138,491
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	1,616	4,040	2,676	2,200	△215	10,318	(5,398)	4,920
セグメント資産 (有形固定資産)	7,763	16,821	9,282	11,017	599	45,484	5,889	51,373
その他の項目 有形固定資産の 増加額	1,134	2,467	1,931	3,408	3	8,944	57	9,001

- (注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については、各報告セグメントへの配賦を行っておりません。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用5,398百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。
3. セグメント資産(有形固定資産)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社資産5,889百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の資産及び一部の福利厚生施設等であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:百万円)

	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業	全社・ 消去	合計
減損損失	—	202	188	69	—	50	509

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	5,052円36銭	1株当たり純資産額	5,516円08銭
1株当たり当期純利益	214円24銭	1株当たり当期純利益	341円95銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当連結会計年度末 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	95,675	103,660
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	1,876	1,761
(うち非支配株主持分 (百万円))	(1,876)	(1,761)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	93,799	101,899
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	18,565	18,473

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,977	6,343
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,977	6,343
普通株式の期中平均株式数(千株)	18,565	18,549

(重要な後発事象)

該当事項はありません。